

西村亀氏文書(4)概要

- 1:文書群番号 079012
- 2:文書群名 西村亀氏文書(4)
- 3:出所 西村亀家
- 4:家業・役職等 道意新田庄屋・道意部落総代
- 5:地名 摂津国武庫郡道意新田／兵庫県武庫郡道意新田／武庫郡大庄村道意新田／大庄村道意／尼崎市道意／尼崎市道意町ほか
- 6:行政区分 尼崎藩領／兵庫県第7区／西新田組戸長役場／大庄村／尼崎市
- 7:歴史
西村家は近世に道意新田村庄屋、明治前期には道意新田部落総代を務めた。また道意新田が大庄村の大字となったのちは、大庄村の村会議員を務めた。
道意新田については、承応2年(1653)西成郡海老江の医師中野道意の係累3名が東・西新田地先の太布脇開発を出願し、開発された。当初は太布脇新田と呼ばれたが、寛文9年(1669)の検地以降道意新田と改名した。もっとも郷帳に村名が独立して記載されることはなかった。明治22年(1889)以降は大庄村の大字、昭和17年(1942)以降は尼崎市の大字道意となった。
- 8:伝来 昭和54年、西村豊氏より史料館が借用。平成21年8月に整理・目録作成を完了し、同22年2月に寄託を受けた。
- 9:史料入手先 西村豊氏
- 10:点数 1135点(目録件数911件)
- 11:年代 天保2年(1831)～昭和28年(1953)
- 12:構造と内容
本文書群は西村亀氏文書(1)(2)(3)と本来一体。
近世史料は、領収証が多数を占める。村政関係として年貢勘定や御用銀の領収証などがある。他に下屎代銀の請取書もまとまっている。
近代期の史料は、①村政、②農業経営、③家関係の史料が中心である。
①は、衆議院・県会の選挙関連のものが多いが、大半は立候補者の挨拶状、支持者からの推薦状などである。
②は、芋栽培及び取引のほか、下屎関連の史料が多い。前者は京都甘藷組合への出荷数などがわかり貴重である。
③は、私的な書簡類が中心である。祝い事や葬式・法要などの案内などからは西村家の広い交流関係が読み取れる。また謡曲会、寺院や教会からの催事案内が多いことである。
教育に関する史料は、西村秀子氏・亀氏が通学していた大正年間の大庄尋常高等小学校関係のものである。試験問題や解答用紙、学校へ提出した課題(宿題)等が中心である。
- 13:関連史料 西村亀氏文書(1)(2)(3)、同氏文書(5)
- 14:閲覧条件 原本
- 15:作成者 河野未央